事業番号

0646

			平成25年行政事業レビューシート (厚生労働省)								助省)					
	事業名	子育て支援サービス事業費等						担当部局庁			雇用均等·児		記童家庭局		作	或責任者
事業開始・ 終了(予定)年度		平成22年度				_	担当課室			育成環境課					摩利夫	
会計区分		年金特別会計子どものための金銭の給付勘定				定	政策・施策名			児童の健全な育成及び資質の向上に 供すること(VI-2-2)			句上に必	要なも	トービスを提	
根拠法令 (具体的な 条項も記載)		児童手当法第29条の2						関係する計画、 通知等			「子育て支援事業等助成費の国庫補助について」 (厚生労働事務次官通知 平成6年8月22日 厚生省発児第 137号)					
事業の目的 (目指す姿を簡 潔に。3行程度以 内)		民間企業・子育てNPOが設置する放課後児童健全育成事業等を実施する施設の整備に対し助成等を行うことにより、児童の健全育成に寄与すること を目的とする。														
事業概要 (5行程度以内。 別添可)		(1) 放課後児童クラブ等環境整備事業・・・企業・子育てNPOが放課後児童健全育成事業や子育て親子の交流・相談事業を行う際に必要な整備費や、事業所内保育施設における備品等購入費の一部を助成する事業。 (2) 身近な子育て応援活動推進事業・・・社会全体で子育てを支えるという意識啓発を図る取組み、子育て支援や次世代育成に関する情報提供等を実施。 ○実施主体:一般財団法人こども未来財団 ○補助率:定額														
庚	尾施方法	□直接実施		□委託・	請負	■補助 [□負担 □]交付 口貸付		†	口その位	他		
予算額 • 執行額 (単位:百万円)		予算補		当初予算 補正予算 繰越し等		22年度 472 472	356			301			25年度 225 225		26年度要求 193	
		執行				472		356		301						
		執行率(%)				100.0%		100.0%		100.0%						
					100.0%	v		1						_	目標値	
成果目標及び成 果実績 (アウトカム)		成果指標本事業は、施策目標の柱である「 入れ児童数を拡大」という目標の 一つであることから、個別に成果E 馴染まない。				達成のための手段の		成果実績達成度	が所 %		22年度 - -		- 度		艾	(年度)
		活動指標						建队及	単位		22年度	23年	度	24年月	度	25年度活動見込
活動指標及び活動実績 (アウトプット) 単位当たり コスト		放課後児童クラブ等環境整備			 竟整備	事業の助成件数	業の助成件数		か所		224 (152)	198		185		- (68)
		(1, 252千円				/1箇所)		単位当たりコストX/Y X:平成24年度執行額(放課後児童クラブ等環境整備事業の 算出根拠 Y:平成24年度放課後児童クラブ等環境整備事業実施か所 【185か					632千円】 所数			
	費目		目 25年度当初予算		26年度要求				主な増減理			曲				
平成25・26年度予算内訳	子育で支援サービス事業費等		225		193	実	績を踏ま	えた補助	か所数	めの減						
	計															

	事業所管部局による点格	食							
	項目	評価	評価に関する説明						
必曹	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。	0	民間が設置する放課後児童クラブの整備や子育て支援拠点の環境 改善に対して助成を行うことで、地域の子育て支援機能の充実が図 られるため、広く国民のニーズがある。						
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	0	既存の公的サービスでは対応できない、機動的、弾力的な事業を実 施するため、民間等に委ねるべき事業と考える						
0	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。	-	-						
	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	0	民意を反映し多様なニーズに応えるとともに、事業主団体や民間企業、地方公共団体、NPO法人等の関係機関と連携しつつ拠出者へ還元的意義を有する児童育成事業を行った実績を有し、児童の育成に幅広い知識と経験を有している法人を選定している。						
事業	受益者との負担関係は妥当であるか。	0	財源を負担している事業主への還元的な事業を実施するものであり、負担関係は妥当である。						
の効	単位当たりコストの水準は妥当か。	0	実支出額と基準額を比較して、補助金の額を算定している。						
率性	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	0	整備に係る経費や備品購入費など事業に必要な経費を 支出している。						
1	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	0	対象経費については、助成要領にて真に必要なものの み規定している。						
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	-						
事	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的 あるいは低コストで実施できているか。	0	活動実績は当初見込みよりも上回っており、実効性の高いものになっている。						
業の	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	0	毎年当初見込みを上回る活動実績になっている。						
有効性	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	0	放課後児童クラブ・子育て支援拠点施設整備等事業により整備、改修された放課後児童クラブ等は、その後十分に活用されている。						
-	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。 (役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	-							
重複	事業番号 類似事業名 所管府省·部局名		_						
排除									
点検結果	当該基金の運用益により実施してきた事業(基金事業)のうち、必要な事業については ス事業費等)を実施。 また、本事業は、仕事と子育ての両立の支援、子育てに優しい環境づくりの推進、企: 事業主への還元的な事業を実施するものであり、民間のニーズを踏まえ、既存の公的 である。 本事業は、子育て支援に対する事業主の理解を深めることにより次世代育成支援に 件の助成を行っているなど民間のニーズが認められ、また、各点検項目による評価も#	業の子育サービス	て支援に関する取組みの促進など、財源を負担しているでは対応しがたい機動的・弾力的な事業を実施するものいるといえる重要な事業である。24年度においては、185						
・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・									
検対	対象外 行政事業レビュー推進チーム	の所見							
	事 東 内 内 本事業については、支出対象の限定・重点化の観点から事業内容等の見直 の 改 養	『業については、支出対象の限定・重点化の観点から事業内容等の見直しを図るべき。							
	所見を踏まえた改善点/概算要求にお	ける反	央状況						
	縮 実績を踏まえた補助か所数の減								
	備考								

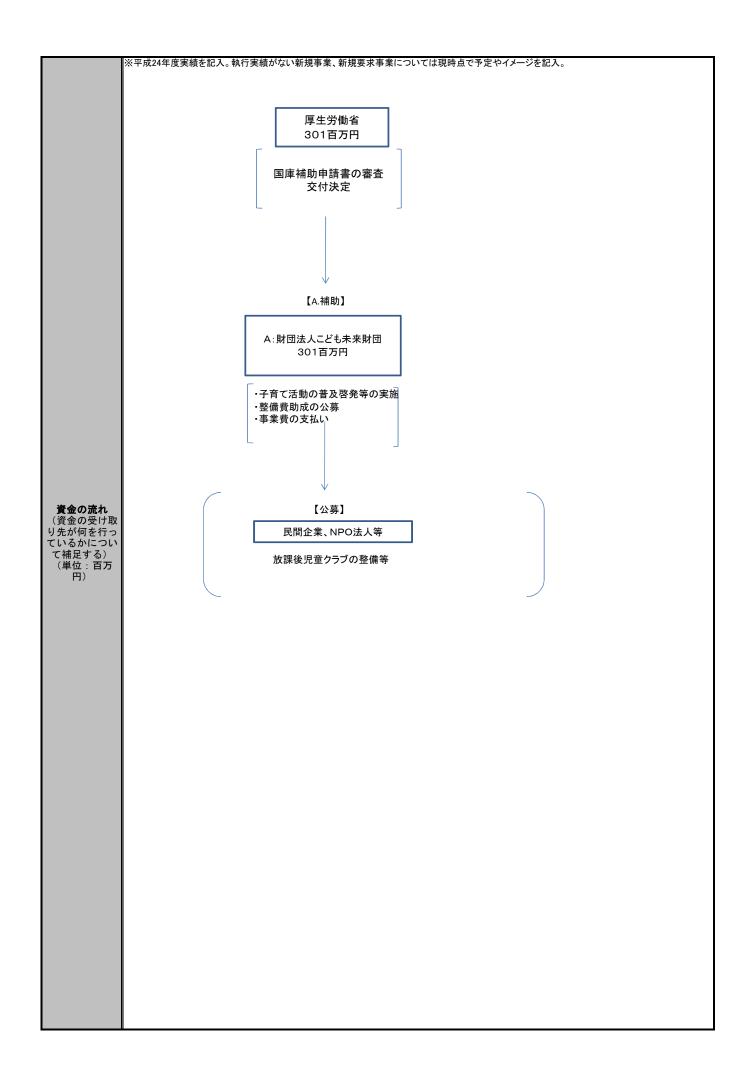
関連する過去のレビューシートの事業番号

0894

平成24年 0776

平成23年

平成22年 1039



	.,	A.一般財団法人こども未来財団		E.				
	費目	使 途	金額(百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)		
	事業費	子育で活動の普及啓発や子育で支援に関する情報提供等に要する経費 放課後児童クラブ等環境整備事業等に要する経費	18					
	事務諸費	<u>6経質</u> 子育て支援活動に要する事務費及び人件 費	51					
		具						
	計		301	計		0		
		В.	A \$5		F.			
	費目	使 途	金額(百万円)	費 目	使 途	金額(百万円)		
費目・使途 (「資金の流れ」に								
おいてブロックごとに最大の金額								
が支出されている								
者について記載 する。費目と使途 の双方で実情が								
分かるように記								
載)	計		0	計		0		
		C.						
	費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)		
	計		0	 計		0		
		D.			H.			
	費 目	使 途	金額	費 目		金額(百万円)		
		2 2	(百万円)		2 ~	(自万円)		
	計		0	計		0		

支出先上位10者リスト

A.					
	支 出 先	業務概要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	一般財団法人こども未来財団	家庭の育児を支援する事業の振興、児童の健全育成等を支援する事業の振興等	301		
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

В.

Б.	支 出 先	業務概要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9				·	
10	_	_	·		